

医療情報学分野

A 欧文

A-a

1. Differences in prognostic factors according to viral status in patients with hepatocellular carcinoma. Akahoshi H, Taura N, Ichikawa T, Miyazaki H, Akiyama M, Miura S, Ozawa E, Takeshita S, Muraoka T, Matsuzaki T, Ohtani M, Isomoto H, Matsumoto T, Takeshima F, Nakao K: Oncol Rep 23(5): 1317-1323,2010

B 邦文

B-a

1. 林 徳真吉, 柳生大輔, 横田賢一, 安倍邦子, 木下直江, 松本武浩, 芦澤和人, 藤田修一, 池田 通, 本多正幸: パーチャルスライドによる病理組織実習の実現 がん医療の均てん化予算で導入されたシステムの活用, 病理と臨床: 87-91, 29, 1, 2011

B-b

1. 松本武浩, 本多正幸: 長崎県での地域医療 IT 連携普及への取組み「あじさいネット」. 医療情報学 30(Suppl.): 31-34, 2010
2. 松本武浩, 木村博典, 岡田みずほ, 本多正幸: 異なる HIS ベンダー間での地域医療 IT 連携の実現. 医療情報学 30 (Suppl.): 1004-1006, 2010
3. 丸山陽一, 松本武浩, 海老原隆善, 藤原 卓, 本多正幸: クライアント・サーバ型電子カルテとサーバベースコンピューティング型歯科システムの連携についての評価. 医療情報学 30(Suppl.): 1116-1119, 2010
4. 米田利己, 本多正幸, 中嶋春生, 正田直人, 野寄正樹, 林田和子, 一橋了介: CATV ネットワークを活用した地域見守り支援システム - 長崎・対馬地域における実証事業の展開を踏まえて - . 医療情報学 30(Suppl.): 1175-1176, 2010
5. 松本武浩, 岡田みずほ, 本多正幸: 処方オーダーエントリーシステムに組み込んだ持参薬管理システムの開発. 医療情報学 30 (Suppl.): 1282-1285, 2010
6. 本多正幸, 松本武浩, 紀ノ定保臣: 患者データの 2 次利用システム DWH の役割と課題 - 課題研究会における経過を踏まえて - . 医療情報学 30 (Suppl.): 1320-1321, 2010
7. 本多正幸: 地域医療連携と地域見守りにおける ICT の活用 - 長崎地域における取組と成果 - . 日本健康医学会, 第 19 巻第 3 号, 2010 年 11 月 :104-141, 2010
8. 木村博典, 中原賢一, 米倉正大, 松本武浩: あじさいネットにおける双方向性連携による情報共有の試み. 医療情報学 30 (Suppl.): 999-1001, 2010
9. 松本武浩: Change! 長崎大学病院 地域医療との連携 気軽に利用できる情報源を目指して. 長崎県医師会報, 第 769 号, 平成 22 年 2 月 :30-31, 2010

B-c

1. 松本武浩, 本多正幸: 長崎大学病院での病院情報システム更新経験を踏まえて. 新医療 (0910-7991) 36 巻 11 号 : 34-38, 2009
2. 八橋 弘, 松本武浩: 長崎県での医療連携—IFN 手帳とあじさいネット. 肝胆膵 61 (5) : 819-827, 2010
3. 川口サツミ, 黒石さゆり, 竹田まりえ, 多谷彩子, 向田圭介, 境脇由香利, 近藤政美, 坂井光太郎, 松本武浩, 川崎浩二: 入院説明と退院支援スクリーニングをメディカルサポートセンターに一元化 - 看護師は本来業務に専念できるように - . 医療アドミニストレーター : 32-27, 11, 2010
4. 藤井 卓, 松本武浩, 白髭 豊, 野田剛稔: 『がん疾患地域ITネットワークと電子地域連携クリティカルパス』. じほう : 199-217, 2010
5. 松本武浩, 吉田亮子, 本多正幸: 病院情報システムにおける物流システムの価値 - 長崎大学病院における物流システム構築 -. 新医療 : 2010
6. 松本武浩: 医薬品と対応病名データベースの価値. ジャピック・ジャーナル : 15, 25-35, 2010
7. 松本武浩: 地域連携クリティカルパスと IT - 現状と今後の方向性 - . クリティカルパスの新たな展開 VI 地域医療と地域連携クリティカルパス, 中外製薬株式会社 : 49-55, 2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	1	6	17

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
本多正幸・教授	広報委員会	日本医療情報学会
本多正幸・教授	医療分野における電子タグの適用調査及び実証事業	経済産業省
本多正幸・教授	遠隔医療の推進方策に関する懇談会	総務省・厚生労働省・経済産業省
松本武浩・准教授	医療分野におけるIT化検討委員会委員	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	救急医療情報システム検討委員会委員	長崎県保健医療対策協議会
松本武浩・准教授	長崎県医師会情報システム検討委員会委員	長崎県医師会
松本武浩・准教授	長崎市情報化検討委員会委員	長崎県医師会
松本武浩・准教授	長崎県医療機能情報提供検討会委員	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	長崎地域医療ネットワークシステム協議会運営委員	NPO 法人長崎地域医療ネットワークシステム協議会
松本武浩・准教授	地域医療連携 ASP・SaaS のための医療分野向けプラットフォーム事業化に係る実証実験	総務省
松本武浩・准教授	長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室室長	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	長崎市医師会情報処理委員会委員	長崎市医師会
松本武浩・准教授	NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会理事・運営委員会委員	NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

競争的研究資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
本多正幸・教授	久保工業㈱	代表	医療情報の効率的なコンテンツ作成に関する研究
本多正幸・教授	エヌ・ティ・ティ・データ㈱	代表	診療情報の活用による医療経済・医療経営・安全管理・疫学研究等へのフィードバック研究
本多正幸・教授	㈱大黒	代表	効率的物流システムの構築に関する研究

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
松本武浩・准教授	疾患予後モデルの作成方法、このモデルを用いた疾患予後予測方法、このモデルによる予後予測装置、ならびにそのプログラム・記憶媒体	2004年 11月4日	2006.7.13	WO2004/095021
松本武浩・准教授	医療機関向けセーフティマネージメントシステム	2008年 7月16日	2010.2.4	特願 2008-209096

その他

非常勤講師等

氏名・職	職・担当科目等	関係機関名
本多正幸・教授	非常勤講師（情報科学）	国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校
松本武浩・准教授	非常勤講師（看護情報学）	国立病院機構長崎医療センター看護学校
松本武浩・准教授	理事	NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会

講演会

氏名・職	演題名	講演会等名
松本武浩・准教授	「医薬品と対応病名データベース」の価値 長崎大学病院での利用法	医薬品と対応病名データベース講演会
松本武浩・准教授	地域医療 IT 連携を構築するには？ あじさいネットワーク 5 年間の取り組みと広域化への展開	嬉野医療センター講演
松本武浩・准教授	地域医療 IT 連携を構築するには？ あじさいネットワーク 5 年間取組と広域化への展開	井上病院講演
松本武浩・准教授	地域医療 IT 連携を構築するには あじさいネットワーク 5 年間取組と広域化への展開	聖フランシスコ病院講演
松本武浩・准教授	「長崎大学病院情報システム」	平成 22 年度採用者オリエンテーション
松本武浩・准教授	「個人情報保護について」	平成 22 年度研修医オリエンテーション
松本武浩・准教授	地域医療 IT 連携を構築するには？ あじさいネットワーク 5 年間取組と広域化への展開	井上病院看護師向け講演
松本武浩・准教授	地域医療への IT 導入の効果 ～あじさいネットの概要～	佐世保市医師会講演
松本武浩・准教授	地域医療が変わる！ 地域医療 IT 連携の必要性和価値「あじさいネットの取り組み」	長崎 P ネット講演
松本武浩・准教授	地域医療が変わる！ 「あじさいネットの取り組みと価値」	南西部医療協議会講演
松本武浩・准教授	地域医療の IT 化によるバーチャルホスピタルの 取り組みについて	富士通病院経営戦略フォーラム 2010 九州
松本武浩・准教授	DPC 時代の電子クリティカルパスの価値 「長崎大学病院における電子パスの導入経過と効果」	大分大学病院講演「長崎大学病院における電子パスの取組み」
松本武浩・准教授	「長崎大学病院の新たな試み」 地域医療 IT 連携「あじさいネット」における大学病院の役割	第二内科研究会講演
松本武浩・准教授	地域医療が変わる！ 「あじさいネットの取り組みと価値」	県北医療情報ネットワーク準備委員会講演

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題名	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松本武浩・准教授	「DPC に対する取り組み」	日経メディカル 開発	2010 年 9 月	長崎大学では、平成 21 年 4 月より“Change 長崎大学“を掲げ、病院改革に取り組んでいる。日本一働きやすい病院を目指し、徹底的な業務見直しと情報化及び医師や看護婦の専門性を必要としない所謂「雑務」と搬送業務の事務クランクを中心とした職種シフトを実現している。一方、医療単価アップに向け DPC の多くの機能評価係数が取得できるよう、院内の組織体制を構築した結果、機能評価係数は全国 42 大学中 1 位、機能評価係数は 2 位と上位に位置している。
松本武浩・准教授	「病院と診療所 IT 使い連携 先進事例、全国から注目」	長崎新聞	2010 年 5 月 24 日	地位医療の中で地域の中核病院のカルテを診療所や他の医療機関から利用できるサービスを 2004 年より運用している「あじさいネット」が、2009 年 4 月より長崎市内でサービスを展開し、すでに長崎大学病院、長崎市民病院、日赤長崎原爆病院、光晴会病院、十善会病院の 5 病院が運用しているが、2010 年 5 月から新たに済生会長崎病院、聖フランシスコ病院、井上病院の 3 病院が加わり、合計 10 病院のカルテ情報が患者の同意のもと利用できるようになった。これを機会により本サービスの普及と啓蒙を目的として「あじさいネット研究会」が 2010 年 5 月 14 日、長崎県医師会館にて開催された。田上市長および新たなサービスを開始する病院長による挨拶によるセレモニー終了後、研究会で多くの発表がなされ、活発な意見交換が展開された。